

放送大学

北海道同窓会会報

第 28 号

発行 放送大学北海道同窓会

発行責任者 宮崎 新吾

編集 広報担当

発行日平成 28 (2016) 年 8 月 12 日 (金)

URL: <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

会員数 215 名 (2016 年 6 月 30 日現在)

「放送大学同窓会連合会 平成 28 年度 (第 19 回) 通常総会」に出席して

放送大学北海道同窓会 会長 宮崎 新吾

5 月 28 日・29 日の両日、千葉県の幕張国際研修センターにおいて行われた、「放送大学同窓会連合会 平成 28 年度 (第 19 回) 通常総会」についてご報告させていただきたいと思ひます。

この放送大学同窓会連合会は、全国にある放送大学の同窓会の連合会組織で、年一回総会を開催して、先進的な取り組みをしている同窓会の活動を紹介したり、また、運営方法などについて意見交換をしたりする場となっており、同窓会活動を行う上で貴重な情報収集源となっております。また、今年度から、中根前会長に続き、北海道同窓会から同窓会連合会の二人目の役員を出させてもらえることとなりました。これにより、さらに多くの情報を素早く入手することが可能となり、全国的にみても他の同窓会の模範となる同窓会運営が可能になることと思ひられます。

5 月 28 日は、13:00 から第 1 部として「第 19 回通常総会」が行われました。冒頭、齊藤理事から新たに設立された福島県同窓会の紹介がありました。続いて、熊本同窓会と大分同窓会から地震に伴う各地からの支援に対するお礼と、それぞれの同窓会の会員には大きな被害は出ていないことが報告されました。



矢野会長による「開会の辞」に続いて、「学歌」を参加者全員で声高らかに合唱しました。その後、議長・書記が選出され、議事は、①平成 27 年度活動報告、②同決算報告及び監査報告、③平成 28 年度活動方針及び活動計画 (案)、④同予算 (案)、⑤役員選任 (案) がそれぞれ示され、承認されました。

⑤の新役員は、新会長として津野和子氏 (京都同窓会)、新副会長として網倉紀年雄氏 (山梨同窓会) が、また、新理事として、宮崎新吾 (北海道同窓会)、山田康雄氏 (東京多摩同窓会) が、幹事として、小滝つるゑ氏 (千葉同窓会) それぞれ選任され、挨拶をしました。

15:00 からは、第 2 部として「検討会」が行われました。『テーマ: SC、サークルと学友会、同窓会の三位一体活動』と題して、齊藤理事から同窓会活動アンケートの結果報告が

行われ、その中で、全国の同窓会が「入学の集い」や「卒業を祝う会」をどのように運営しているか、また、ホームページはどのように運営しているかについて報告がありました。また、津田副会長からは、全国6地区の交流会の実施状況について報告がありました。

その後のディスカッションでは、各地の同窓会からホームページ開設における個人情報の取り扱いなどがありました。

所感として、來生副学長から、テレビオンライン授業とラジオオンライン授業のコストについてのお話と、それらとインターネット授業との比較のお話などをしてくださいました。

その後、17:15からは、「祝賀懇親会」が同研修センター内で開催され、北海道同窓会として、來生副学長、津野新会長に挨拶を行い、また、連合会役員として懇親会の進行に協力するなど、北海道同窓会の存在を全国の同窓会に対して印象付けることができたと思っております。



翌5月29日は、9:00から「全国同窓会情報交換会」が行われました。主な情報交換会のトピックスとして、「同窓会活動と今後の発展、SC、学友会とのかかわりの中で」、「全同窓会トピックス紹介」、「新ホームページのご紹介と対応のお願い」などがあがりました。この中で、北海道同窓会からは、「全同窓会トピックス紹介」の中で、研究発表会

を年2回実施していることなどを中心に、定期総会での予定議題などについて発表しました。また、今回から発表時間を各同窓会の発表を一人2分間として、これまでは時間切れで発表できないことがあった九州地方も含め、全国各地の同窓会からの発表が行われました。その中で、様々な取り組みや悩みなどを聞くことができ、多くのことを学ばせてもらいました。



同窓会は、学生と母校の支援をするものだと考えのもと、私たちは普段の活動を行っておりますが、その同窓会を支援してくれているのが同窓会連合会であり、また、その同窓会連合会を支援しているのが大学本部であり、学長・副学長をはじめとした学生支援室の方々であります。このような皆さんに支えられながら、北海道同窓会も母校である北海道学習センターと卒業生・在校生のお力添えをいただき、一段と活発に活動できるものと考えております。

今後も、同窓会員のみならずとともに、北海道学習センターの在校生及び学生サークルの活動の後ろ盾となりながら、母校の支援に取り組んでまいります。会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年度後期 学位授与式



〈修了・卒業を祝う会の様子〉



うたの会から卒業祝いの歌のプレゼント



卒業生から図書贈呈



〈卒業に当たってのひとこと〉

田中喜美子さん

今日は素晴らしい卒業式でした。脊柱管狭窄症で手術を受け歩くのが大変でしたが放送大学をやって先輩方の指導をいただき一緒に卒業ができとてもうれしいです。名誉学生の加藤栄さんは実母と幾つも違いません。その実母が昨年11月101歳で亡くなりました。亡くなった母が後押しをしてくれ勉強することを喜んでくれていました。6コースになってから新しい3コースを卒業でき今回、所長先生から表彰していただいて嬉しかったです。皆さんのおかげで卒業できました。ありがとうございます。



小淵修子さん

この度情報コースを卒業しまして6回目の卒業となりました。皆さんにお世話になって感謝感激しています。何か「教育と教養が大切なんだよ」と聞かされて、教育とは今日行く所がある。教養は今日用事があるとの事で学習センターへ出かけるのを楽しみにしています。私は学生番号が93から始まりかなり古い方で学部は6コースを卒業しました。大学院のほうは選科生で28単位取りました。今後も選科生を続けていきたいと思えます。宜しくお願いします。



藤石文平さん

農学部の昆虫会館に18年前世話になった。2学期から全国放送が始まった。18年前が昨日のように思う。友人も何人か亡くなっている。健康が第一！朝目覚めると健康のことを考える。3月11日滋賀放送大学正門前から70キロマラソンした。道を迷いながら14時間かかり到着した。「自然と環境」コースで放送大学の授業の最後に流れていた風景を調べると犬吠岬の屏風ヶ浦だった。3月にフェリーで大洗、後は自転車で行った。放送大学のそばまできて右折してきた車にひき逃げされ救急車で運ばれた。鎖骨を折って治るのに秋ごろまでかかった。健康のため4月から走る事にした。

榎本聡子さん

子供の時から勉強したかったが時代のせいで勉強できなかった。46歳で看護学校を卒業しました。主人が寝たきりになり10年見て子供も巣立ちました。放送大学を知っていましたが内部障害一種の3級で目の疾患がありレポートもかけないと5年間悩んで70歳過ぎで入学ゼロからの出発でした。4年で「生活と福祉」卒業し今回は6年で「心理と教育」卒業研究も85Pかきました。また「情報」で再入学します。勉強することによって身体の悪い所があっても勇気と行動力をいただける。生きていれば後20年で加藤さんと同じ歳になり名誉学生も狙えるとそんな慾も出てきました。よろしくお願ひします。



第12回放送大学研究発表会開催

4月9日(土)に同会実行委員会の主催で、北海道学習センター6F大講義室において開催され、90数名の聴衆を集めました。

1. 記念講演

演題：「あちら」と「こちら」－「異界」から「社会」へ－

講師：筑和 正格氏

放送大学北海道学習センター所長



プロローグでは「不思議な力 / 超自然力」の出現を、我々には馴染みの深いカフカの『審判』を用いて例示します。この作品ではヨーゼフ・kが理由もなしに逮捕され、罪状さえ明らかにされないまま、無残にも1年後に処刑されるという不条理が描かれます。

次いで超自然への覚醒～抑制～調和のプロセスを、これも名立たるゲーテの「若きウェルテルの悩み」等の作品を使って解説されました。これらの作品の引用

からは「人口」と「自然」を模索したゲーテの優れた直観とともに、文学はもちろん政治等のあらゆる領域で秀でていた彼の才能と関心、とりわけ鉱物学への造詣と Demonic なものへの傾倒を垣間見ることができます。

次いで西洋史全体を俯瞰して古代、中世、近代という時間の流れのなかで、超自然力と人間の関係がいかに変遷したかを説明。そしてこれも広く普及しているカミュの『異邦人』のムルソーを例題にして、その振る舞いは現代「合理」社会のなかでは排除されるほかはないが、それでもなお「正常」と「異常」の関係は二重性を帯び、錯綜していると指摘されました。

最後に超自然・不可思議の考察のフィールドは文学から社会学へ移行すると予告。同時に、「方法としての異世界を知ることによって現代社会の〈自明性の檻〉の外部に出てみるのが大切」との指摘を取り上げ、それが自分の生きる時代・社会を再認識することに繋がると提言されました。



発表1 テーマ 「明治初期（開拓使期）における教育行財政に関する一考察」



発表者 藤石 文平氏
放送大学教養学部 自然と環境コース卒業

北海道の開拓経営のために置かれた行政機関である開拓使（明治2年設置、明治15年廃止）が実施した教育行政に着目。主として開拓使の目途とした教育と、明治4年に設置された文部省とその教育政策を具現化した「学制」と対照して、「開拓使の教育行政がどのように変容したのか」についての研究発表でした。発表は以下のように展開していきます。

開拓使は、当然その使命に沿った開拓事業の一環として教育行政をとらえ、開拓技術者や指導者の育成を重要視した。その一方で、文部省は「邑に不学の戸なく家に不学の人なからしめん」との理念を掲げて、国民皆教育の推進をめざした。両者には修学時の費用の考えにも違いがあった。開拓使は生徒に修学後の一定期間を、開拓事業に従事することを義務づけていたため、生活費等を支給していた。しかし学制は教育財源確保のため、受益者負担の原則を堅持した。こうした相剋のなかで、開拓使の教育行政は大きく変容した。

藤石さんの研究は、開拓使と文部省の教育予算、当時の生徒数や教員数及び授業料収入・支出等の財政データを丹念に収集し、これをもとに北海道初期教育実態を明らかにしたユニークなものでした。

発表2 テーマ

「コーディネート力に焦点をあてた地域包括支援センターの機能に関する考察」



発表者 小笠原 祥子氏
放送大学教養学部
生活と福祉コース卒業

地域包括支援センターの「機能」や「課題」に関する研究は多くある中、小笠原さんの研究はこれまであまり視点が当てられなかったコーディネート力（各部を調整し全体をとりまとめること）に視点を置き、センターが機能を

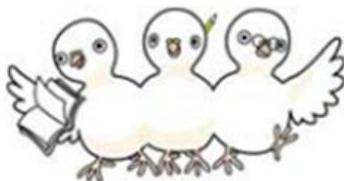
を有効に発揮するためには、この力が重要な基盤的要素であることを実証しようとしたものです。

そのために札幌市にある27カ所の地域包括支援センターの中から一カ所を選定、さらにその担当地区から2つの事例を抽出して、これについての詳細な分析を行っています。事例

ではまず要介護者を取り巻く家族関係や生活状況、本人の心理状態等を細かに調査し、その状況を支えるセンター等の支援機関の働きを詳しく論述しています。くわえて介護者を取り巻くこの関係が、実にわかりやすく図示されているため、発表の際には聴衆の理解を深める結果に繋がっていました。

この研究からはセンターがいか介護予防マネジメントに時間を割かれ、必要とされるコーディネート力を構築できないでいる現状が見て取れます。

最後にまとめとして、コーディネート力をつける要素として「ケアマネジメントするうえでは自助・互助・共助を高める視点を持つこと」などの実践的提言をしています。



第 12 回放送大学研究発表会アンケート集計

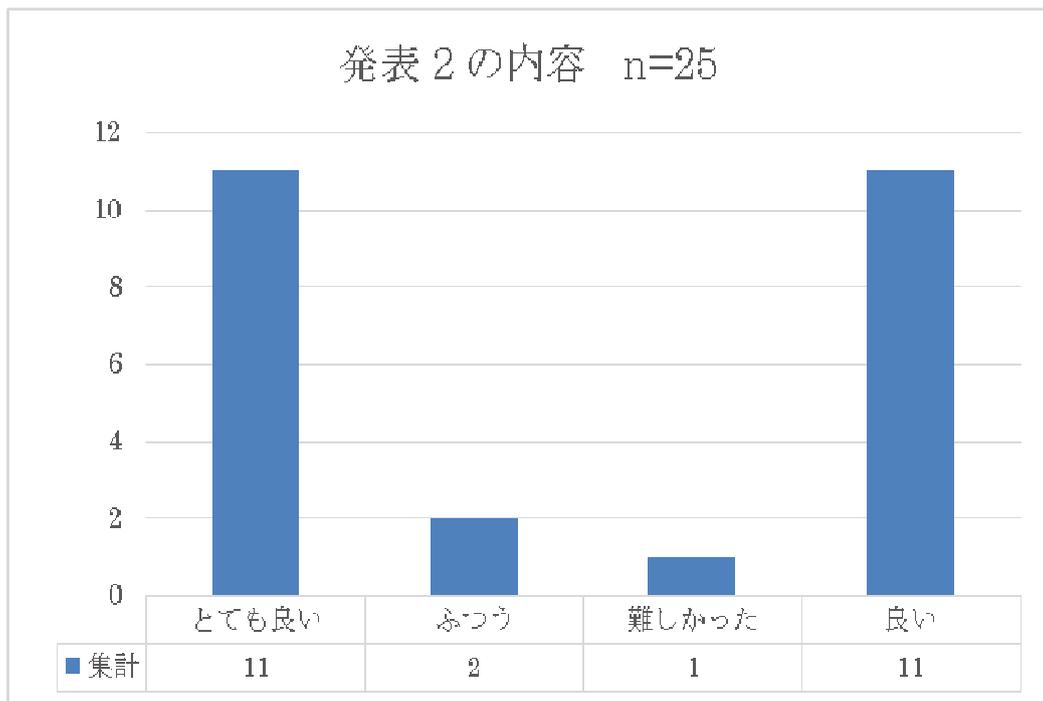
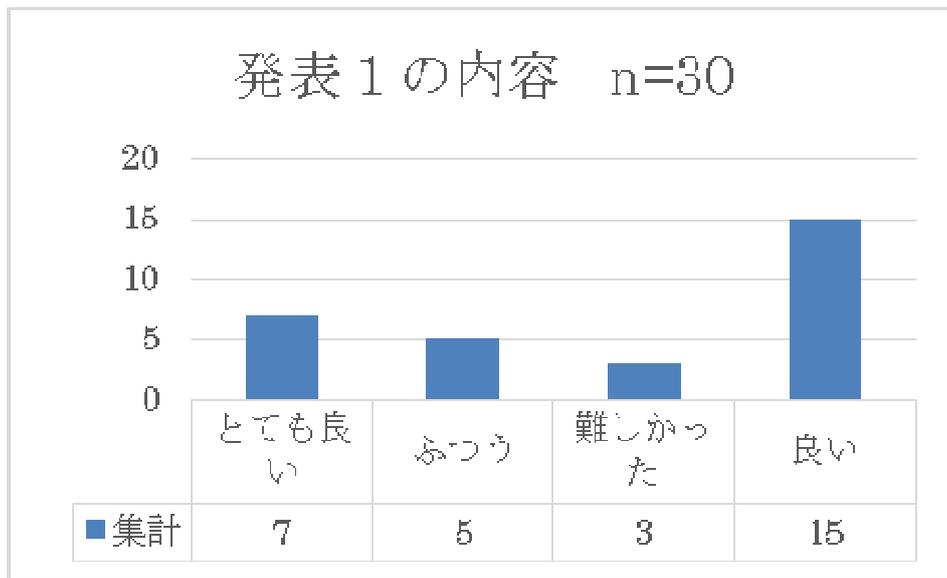
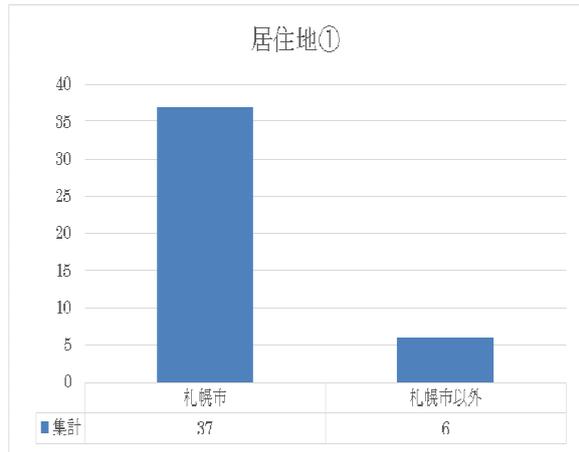
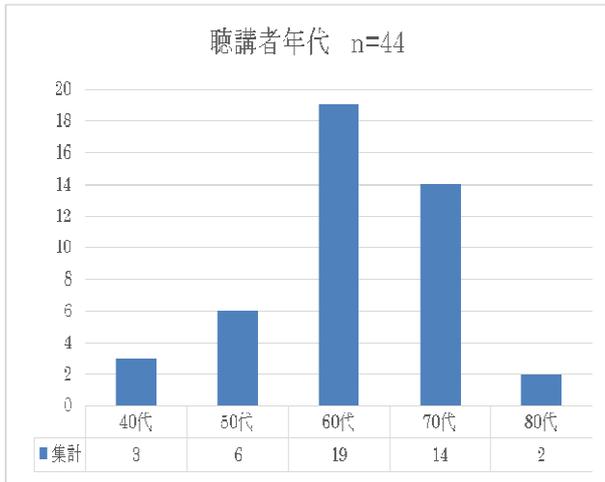
2016(平成 28) 年 4 月 9 日実施
聴講者数 90 名・有効回答数 44

聴講者数 90 名

アンケート 有効回答数 44 (回答率 48.9%)



女性	19 人
男性	22 人
総計	41 人



次回のお知らせ



第13回 放送大学研究発表会

1. 記念講演

演題:近代の終わるとき-100億人地球に生きる-Ⅲ

講師：丹保憲仁氏

北海道立総合研究機構理事長

(元北海道大学総長・元放送大学長)

講演の概要

産業革命に始まる近代の300年は終焉を迎えようとしています。人口100億人がおそらく近代の人類の異常増殖のピークであろうと思います。

化石原子エネルギーがなくなる22世紀初頭では再生可能エネルギーと地球の水循環フラックスで維持できる食料生産と生態系保全のシステムを作り上げていかなければならないでしょう。

人口も60億人ぐらいに減らさなければならないように思います。成長と進歩を単純に追い求めた近代の次の時代、22世紀に本格的に始まるであろうPost Modern時代は今と全く異なる人類史の時代になると思います。2050年から2100年頃に、動き出すであろう近代の次の時代(後近代)は、どんな形になるであろうかをみんなで考えてみましょう。



2. 放送大学 研究発表

発表1 テーマ 「泉鏡花の異界と柳田國男の『遠野物語』のつながり」
放送大学大学院 文化科学研究科 修了 金田 優 氏

発表2 テーマ 「北海道の温泉微生物種と温泉泉質との関係の解析」
放送大学大学院 文化科学研究科 修了 笠原 郁子 氏

日 時：平成28(2016)年 **9月3日(土)** 開始 13:00-17:00(受付：12:30)

会 場：放送大学北海道学習センター6F 大講義室

定期総会 特別講演

今年特別講演(北海道学習センター前所長富田房男先生)を定期総会平成28(’16)年度定期総会を始める前に開催しました。

6月4日(土)午後1時 場所：放送大学北海道学習センター6階会議室

演題 第1部「生活に役立つバイオテクノロジー」

第2部「大学における同窓会の役割について」

プロフィール

北海道大学名誉教授・前放送大学北海道学習センター所長

放送授業を愛知学習センター所長塚越規弘先生とともに「バイオサイエンスで豊かな暮らし」を担当していたことについては、大変素晴らしい思いをさせていただいたと感謝しています。また、放送大学教授であったことは大変名誉であり、喜んでいるところです。2013年が最後の年でしたが、今後も微生物及びバイオサイエンスとバイオテクノロジーに生涯付き合いたいと願っております。



会場には同窓会員以外の学生も5~6名ほど参加し、久しぶりの富田先生の講演を熱心に聴講しました。また、大学における同窓会の役割についても詳しくご指導くださり、わが同窓会役員のみならず、出席者も同窓会の役割を胸に刻みました。出席できなかった同窓生にも知って頂きたく、以下に先生の同窓会についての私見を掲載しました。

同窓会についての私見

前北海道学習センター所長

富田房男

アルムナイ 「アルムナイ」(alumni)はalumnusの複数形で、本来は「卒業生、同窓生、校友」の意味。転じて、企業の離職者やOB・OGの集まりを指します。

海外では、企業が一度は自社を離れたアルムナイを貴重な人的資源としてとらえ、これを組織化し活用する事例が少なくありません。

大学OB組織によるOB人材等を活用した経営面でのアドバイス、大学から企業への人材交流の促進やその人材の研究成果を基にした事業化への支援など、研究開発面のみならず経営面を含めた支援についてはすでに多くの大学でも行われているところ、これらの支援リソースを効果的に活用する観点から、学内におけるマネジメント機能を強化するとともに、他大学や企業、さらには自治体との連携も強化することが重要である。

その学校の卒業生同士の懇親会。
その学校の卒業生によって設立される非営利団体。

同窓会（どうそうかい）は、大きく分けて以下に大別される。
その学校の卒業生同士が当時を振り返るために集まるイベントのこと。
その学校の卒業生により組織される非営利団体。

卒業生の集まりとしての同窓会

特に同時期に卒業した者が集まる場合を「同期会」、同じクラス（学級、ホームルームなど）であった者が集まる場合を「クラス会」、ということもある。また、大学においては「ホームカミングデー（home coming day）」と称し、歴代の卒業生に母校を懐かしんでもらうために開催するケースが多い。

団体としての同窓会

一般に同窓生間の親睦・懇親、母校・後輩への後援などを目的として組織され、会則等を制定し、代表役員を定めたうえで主に下記のような活動を行なうことが多い。性質上、母校に対して卒業生の総意を示す団体として強い影響力を持つこともある。

個別の団体名としては、「学友会」、「OB会」、「後援会」などの名称を使用する場合もある。また、大学・大学院の研究室（専攻、専修）レベルにあっては、その研究室の組織する学会が実質的に同窓会の役割を果たしている場合も多い。

規模によっては社団法人等の法人格を取得している同窓会も存在するが、現在の日本では法律上の法人格取得に制限が大きいため、大半はいわゆる「権利能力なき社団」として活動している。

主な活動

総会・幹事会の開催

卒業年度ごとに幹事が選出され、年数回の幹事会および総会等で役員選出や活動内容が決められている。

会誌の発行

年一回ペースで発行されていることが多い。会員を対象に幹事会報告、会費の収支報告、学校等の近況を知らせるものである。主に私立の学校で発行され、卒業生に送付される。会によっては在校生にも配布されている処や、同窓会費を支払った人のみに送付しているところもある。

卒業生本人が他界しても遺族から学校へ連絡しない限り（同窓会側では事情がわからないので）送付が続けられる。

会費の運用

会員から納められた会費は、幹事会によって運用される。また、卒業生や恩師からの寄付によって賄われている。

一例として母校の発展のために在校生の奨学金と利用されたり卒業生同士の親睦を図るためとして総会やクラス会の援助金としても使用されている所もある。

その他

最近では上記の会誌に加え、ウェブサイトの運営を行なっている会もあり、住所・氏名・勤務先などの変更、送付停止の手続きなどをできるようにしている所もある。

北海道同窓会について

学部卒業生、大学院修了生、一定の年数以上在学した方等は、母校への支援・発展に寄与すること、卒業生や在学生等との親睦を図ることなどを目的とした同窓会へ入会することができます。

放送大学北海道同窓会は 2004年に設立されました。

これを記念して道・放大学生賛歌が全国で始めて作られ、全国放送にて紹介されました。又、学生サークル「うたの会」が毎年2回行っている同窓会主催の「卒業・修了を祝う会」に出演しこの歌を披露しています。2010年設立6周年を迎えた我が同窓会は6月末日で会員数が222名となりました。年2回の卒業・修了を祝う会、年2回・3回発行している会報、学生と実行委員会を組織し、放送大学研究発表会、文化祭など、会員への情報提供のみならず参加型の会を開催しています。これ等の活動を通して放送大学を広報し、地域社会に放送大学のレベルの高さを認識して頂いて、卒業修了した同窓生が社会にその見識を生かす場が増えるよう頑張っています。

旭川同窓会

私たちの同窓会は、平成17年3月に設立されました（現在会員44名）。主な行事としては9月と3月の学位記授与式後に開催される「卒業茶話会」と3月の「卒業を祝う懇親会」があり、同窓会・学友会のメンバーが毎回、卒業生が有意義な時間を過ごせるように心を込めて準備をしてお招きしています。その時には在学中の苦労話や、貴重な体験談、将来展望など話されることが多いです。アウトドアの活動としては、地域性でしょうか、トレッキングを年2・3回行っています（大雪山系の登山、市内近郊の名勝地の散策など）心も体もリフレッシュしています。一緒にいかがですか？参加してみませんか？

北見同窓会

活動内容： ①同窓生、在学生との交流と親睦、情報交換 ②各種研修会への参加 ③北海道同窓会との連携、他同窓会との交流
以上の目的で平成22年10月29日発足しました。

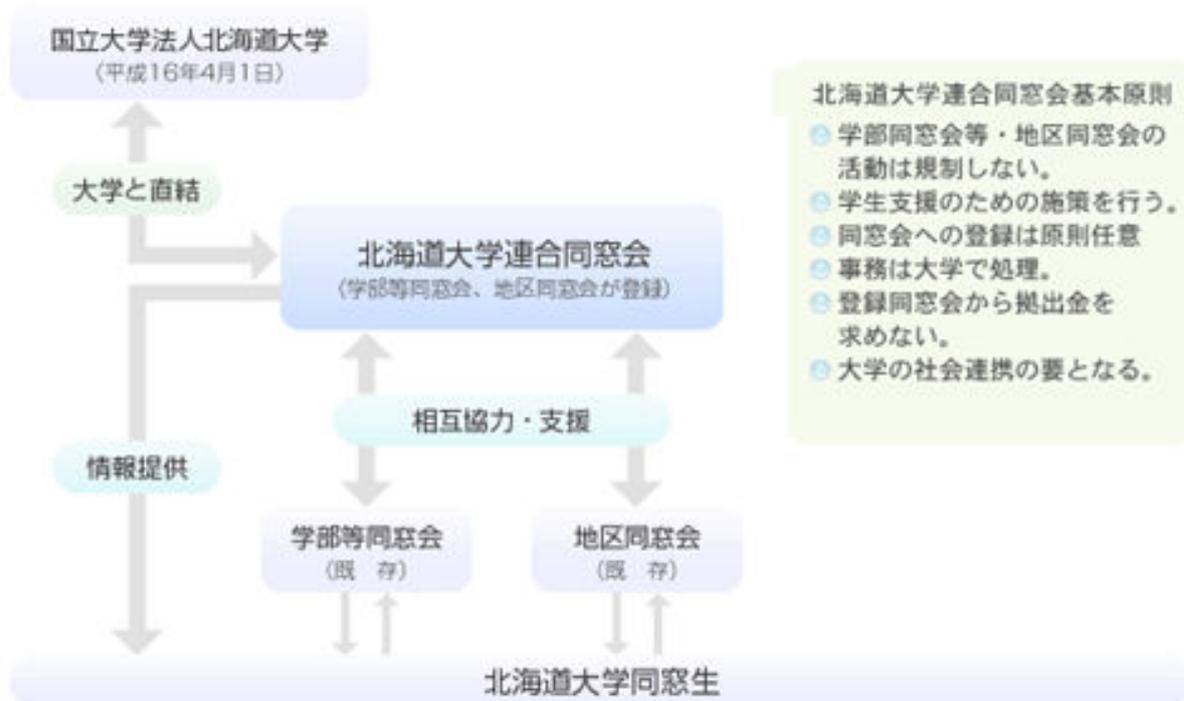
北海道大学の場合

設立の理念

大学と学部・学科の枠を越えた同窓生が広く相互の情報を共有し、社会連携を通じて北大の存在価値をいっそう高めるため全学的拠点をつくる。

法人化を契機に北海道大学が日本の基幹総合大学としての存在価値をいっそう高めるため、北海道大学連合同窓会は次のことを行います。

- ・ 社会連携の要として北海道大学の教育、研究及び社会貢献を支えます。
- ・ 国際的なスケールをもった有為な人材を養成するため講演会を開催します。
- ・ 同窓生に大学の現状等を報告します。
- ・ 同窓生に専門分野を越えた情報交流の場を提供します。
- ・ 同窓会名簿をデータベースで管理します。
- ・ その他、北海道大学カードの発行等、学生の支援のための施策を行います。
(利益の一部が連合同窓会の活動資金にもなります。)



設立の理念

国立大学は平成 16 年 4 月の法人化により、大きな変革の時を迎えている。

北海道大学は、明治 9 年札幌農学校として最初のページを開いて以来、多くの先達が培ってきた「フロンティア精神」、「全人教育」、「国際性の涵養」および「実学の重視」という教育研究理念のもと、激しい時代の変化にも的確に対応しながら日本の基幹総合大学として揺ぎない存在を保持している。

北海道大学が世界水準の知のリーダーとして発展していくためには、従来にもまして社会に向けての情報を発信し、教育研究活動への参加や支援を求める社会ニーズを適切に把握することが重要である。

このためには、大学構成員の努力はもちろんのことではあるが、同窓生からの物心両面に渡る協力と支援が不可欠であるので、大学と密接に連携した学部等同窓会や地区同窓会で組織する全学同窓会を設立することが必須である。

また、大学と同窓生とが一体になる全学同窓会は、相互支援体制の要としても極めて重要であることはいうまでもない。

ARTICLE THREE Mission 第3条 ミッション

3.01 MISSION -ミッション

The Mission of the Association is:

同窓会のミッション

a) to help the University accomplish its three primary activities –research, teaching and community service – by participating in the University’s governance, acting as an advocate and ambassador, supporting fundraising, and engaging the membership in actively supporting the University’s strategic vision;

大学が以下の三つの主要な活動（研究、教育、および地域への貢献）を達成するために大学ガバナンスに参加し、支持者や使節として働き、資金調達を支援し、さらに積極的に大学の戦略的なビジョン支援にメンバーの一員として支援します。

b) to promote lifelong relationships between the University and its alumni by involving alumni in the programs and activities of the Association and in external activities representing the interests of the Association;

同窓会のプログラムや活動や同窓会の意向による外部に向かって活動に関与することで大学とその同窓生の生涯にわたる関係を促進します。

c) to recognize the achievements of alumni, students and friends of the University, and reward outstanding contributions to the Association;

同窓生、学生及び大学の友人の成果を認証し、同窓会への顕著な貢献を顕彰する。

d) to provide products, services and benefits that renew and invigorate alumni affinity with the University;

同窓生と大学との親密度の更新や活性化を図る成果、サービスやメリットを提供する。

e) to undertake appropriate and timely communication with alumni to inform them of issues affecting the University and the Association, and to facilitate communications among alumni;

同窓生に大学や同窓会に影響を与える課題を適切且つタイムリーに知らせるとともに同窓生間の相互連絡を行う。

f) to initiate and pursue an appropriate and timely dialogue with senior officials and faculty of the University;

大学の管理職事務官や教官と適切且つタイムリーな対話のきっかけを作り、それらを実施する。

g) to encourage current students to become involved in the life of the University and the programs and activities of the Association;

現在の学生に大学生活に深く関与し、同窓会のプログラムや活動にも関与することを奨励する。

ARTICLE FOUR Membership 第4条 会員

4.01 MEMBERS -会員

Membership in the Association shall consist of regular, associate and honorary members.

会員は、正会員、準会員と名誉会員から構成される。

4.02 REGULAR MEMBERS -正会員

a) Any person who has received from the Senate of the University a degree, diploma, or certificate in a certified program of one year or more; or

大学評議員から1年間以上の認定プログラムで学位、卒業証書、または証明書を得た者

b) Any person who was a member of the Association prior to the enactment of the Association's Constitution in 1997; or

1997年の同窓会規定の改訂前に会員だった者。

c) Any person who fulfils clauses a) and b) of Article 4.03 and makes formal application to the McMaster Alumni Association Board of Directors may be considered for regular membership.

上記の4.03条a)及びb)に該当し、McMaster同窓会理事会に正式な申請した者は、正会員と認める。

4.03 ASSOCIATE MEMBERS -準会員

- a) Any person who attended the University for at least one (1) year full time or its equivalent and was registered in a course recognized by the Senate of the University; and

少なくとも1年間大学に出席した者またはそれと同等と見なされる者で、評議員が認めるはコースに登録した者

- b) Any person who has contributed in any way to the welfare of the Association or the University provided the nomination for membership is approved by the Board.

同窓会または大学に何らかの貢献をして且つ理事会で会員に指名承認された者

4.04 HONORARY MEMBERS -名誉会員

- a) Any person who has received an honorary degree from the University; or
大学から名誉学位を受けた者

- b) Any person upon whom the Board confers honorary membership in recognition of exceptional contributions to the Association or the University.

卓越した貢献を同窓会または大学に行い、理事会が名誉会員として認めた者

平成28(2016)年度定期総会開催

定期総会を6月4日(土)午後2時30分から開催しました。

会長挨拶の後、筑和所長から挨拶があり、会員215名 出席者15名欠席委任状65名と報告の後、議事に入りました。

第1号～第3号議案(平成27年度事業報告・会計収支決算報告・会計監査報告)、第4号～第5号議案(平成28年度事業計画案・会計収支予算案)、第6号議案(役員追加の件)・第7号議案(その他の件)について、いずれも承認可決されました。

第1号議案

平成27(2015)年度事業報告

平成27(2015)年4月1日～平成28(2016)年3月31日

平成27(2015)年

4月	4日(土)	卒業文集「ひとこと集」編集会議(メール)
	5日(日)	「第11回放送大学研究発表会」実行委員会
	15日(水)	定期総会案内状発送
	17日(金)	「第7回文化祭」実行委員会

- 21日 (火) 卒業文集「ひとこと集」編集会議データ持ち込み
- 24日 (金) ・卒業文集「ひとこと集」製本・発行
・役員会 (定期総会議案書・その他)
- 5月 2日 (土) **定期総会、親睦会開催**
- 9日 (土) 学友会総会へ出席 (副会長、幹事数名)
- 10日 (日) 石狩市浜益川下海岸清掃活動参加(ビーチコーミング参加)
- 16日 (土) ・役員会 (第1回役割分担・名簿・アンケートについて・その他)
・会報26号編集会議
- 31日 (土) 同窓会連合会定期総会へ出席 (会長・前会長)
- 6月 1日 (日) 同窓会代表情報交換会へ出席 (会長・前会長)
- 6日 (土) ・会報26号編集会議
・同窓会員名簿最終確認
・「第11回放送大学研究発表会」実行委員会
- 17日 (水) **会員名簿、会報26号同時発行**
- 27日 (土) 「第11回放送大学研究発表会」実行委員会
- 28日 (日) 洞爺湖町虻田海岸清掃活動
- 8月 1日 (土) ・役員会 (ブロック交流会について・その他)
・「第11回放送大学研究発表会」実行委員会
- 22日 (土) 会場資料製本
- 25日 (火) 2015平成27年度第1学期卒業を祝う会準備
(祝う会と入会案内作成他)
- 28日 (金) 「第11回放送大学研究発表会」準備
- 29日 (土) ・「第11回放送大学研究発表会」開催**
・役員会(同窓会連合会交流会準備)
- 9月 6,7日 (土,日) 海浜美化エコツアー参加
- 5日 (土) **同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会(懇談会・懇親会)**
- 6日 (日) 同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会(情報交換会)
- 20日 (日) **インターナショナルゴミ拾いビーチウォーク参加**
- 26日 (土) 「第11・12・13回放送大学研究発表会」実行委員会
- 27日 (日) ・卒業を祝う会準備
・役員会(同窓会連合会交流会総括・祝う会の件)
・**2015平成27年度第1学期卒業を祝う会開催**
- 10月 3日 (土) ・新入学生歓迎茶話会(学生支援の為協力)

- 6日(火) 卒業文集「ひとこと集」編集会議(メール)
 - 6日 卒業文集「ひとこと集」編集会議
 - 6日 「第10回放送大学研究発表会」実行委員会
 - 6日～11日 「第11回放送大学研究発表会」実行委員会
 - 6日～11日 「第7回文化祭」開催
 - 14日(火) 卒業文集「ひとこと集」編集会議
 - 17.18日(金・土) 同窓会連合会役員会へ出席(会長)
 - 23日(金) 卒業文集「ひとこと集」製本・発行
 - 役員会(会報27号編集について・そのた)
 - 会報27号編集会議
 - 11月 7日(土) 「第12,13回放送大学研究発表会」実行委員会
 - 25日(水) 第27号 会報印刷、発行
- 平成28年(2016)
- 2月 8日(土) 「第12,13回放送大学研究発表会」実行委員会
 - 25日(水) 2015平成27年度第2学期卒業を祝う会準備
 - 役員会(卒業・修了を祝う会の準備について)
 - 3月 5日(土) 「第12,13回放送大学研究発表会」実行委員会
 - 25日(水) 研究発表会会場資料製本
 - 28日(土) 2015平成27年度第2学期卒業を祝う会準備
 - 29日(日) 2015平成27年度第2学期卒業を祝う会開催

* 文化祭実行委員会は暫時開催する

* 2016平成28年4月2日(土)「第12回放送大学研究発表会」開催予定

第2号議案

平成27(2015)年度会計収支決算書

(2015年4月1日～2016年3月31日)

○収入の部

単位:円

科目	予算額	決算額	備考
前期繰越金	728,659	728,659	
繰越前受会費	252,000	252,000	H28(2016)年度以降分
入会金	15,000	17,000	前受入会金 11,000
年会費	185,000	209,000	前受会費 116,000
助成金	100,000	0	

その他の収入	141	18,644	受取利息、委託販売益
寄付金		16,901	小渕様、富田様、中根様
当期前受会費		101,000	
合 計	1,280,800	1,343,204	

○支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
通信費	30,000	17,862	総会案内送料ほか
事務費	45,000	40,820	用紙代ほか
事業費	210,000	70,468	下記内訳のとおり
（研究発表会助成）	50,000	6,960	
（文化祭助成）	50,000	6,000	実行委員会経費
（会報・広報費）	60,000	45,941	会報・広報制作費、送料ほか
（卒業を祝う会費）	35,000	11,567	祝う会参加費との差額
（ホームページ費）	0	0	ホームページ運営費用（前期前払）
（その他）	15,000	0	
旅費交通費	80,000	64,000	下記内訳のとおり
（交通費）	35,000	34,000	役員交通費補助
（旅費）	45,000	30,000	同窓会連合会会議旅費補助ほか
繰越前受会費	252,000	353,000	H28(2016)年度以降分
予備費	663,800	0	
次期繰越金		797,054	
合 計	1,280,800	1,343,204	

第3号議案 会計監査

放送大学北海道同窓会平成 27(2015)年度収支決算について、会計監査の結果、適正に処理されていることを確認しました。

平成 28 年 5 月 14 日

監査 長谷部 清
監査 竹 井 俊介

第4号議案

平成28(2016)年度事業計画

平成28(2016)年4月1日～平成29(2017)年3月31日

平成28(2016)年

- | | | |
|----|------------|---|
| 4月 | 9日(土) | ・「第12回放送大学研究発表会」開催 |
| | 21日(木) | ・卒業文集「ひとこと集」製本・発行 |
| 5月 | 7日(土) | 定期総会、親睦会検討 |
| | 7日(土) | 学友会総会へ出席(副会長、幹事数名) |
| | 8日(日) | 石狩市浜益川下海岸清掃活動参加(ビーチコーミング参加) |
| | 28日(土) | 同窓会連合会定期総会へ出席(会長・前会長) |
| 6月 | 4日(土) | 定期総会、親睦会開催
・「第12・13回放送大学研究発表会」実行委員会
・会報28号編集会議 |
| | 16日(木) | ・会報28号編集会議・印刷依頼 |
| | 18日(土) | ・役員会(第1回役割分担・名簿・アンケートについて・その他)
・正副会長選考委員会(H29～) |
| | 25日(土) | 「第13回放送大学研究発表会」実行委員会 |
| | 26日(日) | 洞爺湖町虻田海岸清掃活動 |
| 7月 | 1日(金) | ・会報28号発行 |
| 8月 | 6日(土) | ・役員会(ブロック交流会について・その他)
・「第13回放送大学研究発表会」実行委員会 |
| | 25日(木) | 平成28(2016)年度第1学期卒業を祝う会準備
(祝う会と入会案内作成他)
会場資料製本 |
| | 27,28日(土日) | 海浜美化エコツアー参加 |
| 9月 | 2日(金) | 「第13回放送大学研究発表会」準備
・役員会(同窓会連合会交流会準備) |
| | 3日(土) | 「第13回放送大学研究発表会」開催 |
| | 11日(日) | インターナショナルゴミ拾いビーチウォーク参加 |
| | 24日(土) | 「第13・14回放送大学研究発表会」実行委員会
・役員会(同窓会連合会交流会総括・祝う会の件)
・平成28(2016)年度第1学期卒業を祝う会開催 |

- 10月 1日(土) ・新入学生歓迎茶話会(学生支援の為協力)
 ・卒業文集「ひとこと集」編集会議(メール)
- 4日(火) 卒業文集「ひとこと集」編集会議
- 4日～9日 「第8回文化祭」開催
- 15.16日(土日) 同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会(懇談会・懇親会)
 同窓会連合会北海道、東北ブロック交流会(情報交換会)
 開催地 秋田
- 20日(木) ・卒業文集「ひとこと集」製本・発行
 ・役員会(会報29号編集について・その他)
- 27日(木) ・会報29号編集会議
- 11月 5日(土) 「第14,15回放送大学研究発表会」実行委員会
- 8日(火) 第29号 会報印刷依頼
- 24日(木) 第29号 会報印刷、発行

平成29(2017)年

- 2月 5日(日) 「第14.15回放送大学研究発表会」実行委員会
 ・役員会(卒業・修了を祝う会の準備について)
- 23日(木) ・平成29(2017)年度第2学期卒業を祝う会準備
- 3月 4日(土) 「第14.15回放送大学研究発表会」実行委員会
- 25日(土) 平成28(2016)年度第2学期卒業を祝う会準備
- 26日(日) 平成28(2016)年度第2学期卒業を祝う会開催

* 文化祭実行委員会は暫時開催する

第5号議案

平成28(2016)年度会計収支予算

平成28(2016)年4月1日～平成29(2017)年3月31日

○収入の部

単位:円

科目	予算額	備考
前期繰越金	797,054	
繰越前受会費	234,000	平成29(2017)年度以降分
入会金	15,000	前受入会金7,000
年会費	200,000	前受会費112,000
助成金	100,000	連合会助成
その他の収入	46	受取利息
合計	1,346,100	

○支出の部

科 目	予 算 額	備 考
通信費	20,000	総会案内送料ほか
事務費	20,000	用紙代、封筒印刷ほか
事業費	210,000	下記内訳のとおり
（研究発表会助成）	50,000	実行委員会
（文化祭助成）	10,000	実行委員会
（会報・広報費）	60,000	会報・広報制作費、送料ほか
（卒業を祝う会費）	60,000	祝う会参加費との差額
（ホームページ費）	10,000	ホームページ運営費用
（その他）	20,000	その他の事業費
旅費交通費	95,000	下記内訳のとおり
（交通費）	35,000	役員等交通費補助
（旅費）	60,000	同窓会連合会会議・ブロック交流会旅費補助
次期繰越前受会費	234,000	平成 29(2017)年度以降分
予備費	767,100	
合 計	1,346,100	

第 6 号議案 選任の件

北海道同窓会役員会は平成 27 年 5 月 16 日の会議において副会長を選出する必要があるとの決議に達し、即日、正副会長候補選考委員会を立ち上げた。正副会長選候補考委員会は直ちに平成 27 年度新役員に就任した沖野茂夫さんを選任した。役員会は即日会議再開し正副会長候補選考委員会の決議に対し議場に諮ったところ満場意義なく可決し、沖野茂夫氏は了承した。正副役員候補・幹事は総会の承認が必要なため議案とした。副会長 沖野茂夫

第 7 号議案 その他の件

一、同窓会会則第 4 条第 3 項の①～③のすべてに該当する会員 1 名の除名

次に選任を承認された沖野副会長より挨拶があり、議事の審議をすべて終了し散会しました。

加藤栄名誉会員白寿祝い・親睦会

定期総会終了後場所を JR 札幌駅北口魚民に移して開催(17 時から)しました。

花束とケーキのプレゼンに加藤さんは少しはにかんで「これからも健康に気を付けて学んでいきます。」と挨拶したところ、会場から「放送大学生は加藤さんから力をもらっている。今後もお元気で頑張ってください。おめでとうございます」と声をかけられ「放送大学のマスコットとしても頑張ります」との力強い返答をしていました。

第2回 紙 上 同 窓 会

3コース(社会と経済、産業と技術、人間と文化)を卒業し、4コース(心理と教育)を続けていますが、もうやめようと思う今日この頃ですが、加藤先輩のことを思うと、もう少し頑張ってみようと思ひ、先日面接授業を受けてきました。あと、18単位。

札幌市清田区 笠 会員

お祝い下さるご厚意はありがたく頂戴いたしますが何だか面映ゆい感じです。

札幌市南区 加藤 名誉会員

朝のウォーキングを楽しんで、元気な毎日を過ごしております。
お世話になります。よろしく。

札幌市 北区 本間 会員

加藤栄様

白寿を心よりお祝い申し上げます。

私達の希望の星としていつまでも輝き続けてください。

札幌市西区 鈴木 会員

加藤栄さんの体力、気力、努力にとても素晴らしいものを感じます。少しでも見習って、私も頑張らなければと思っています。
益々のご発展を祈っています。

札幌市西区 長谷部 会員

謙虚に日々暮らしております。

札幌市厚別区 谷川 会員

在学中の教養学部「心理と教育」コースも順調に単位取得ができ、今年の9月に卒業の目途を付けることができました。

しかしながら、今後は家を自由に留守にすることができない事情が生じたため、学業の継続が心配です。

取り敢えず、二コース制覇できましたので、結果オーライということでしょうか。

恵庭市 宗前 会員

役員の方へ

いつもお世話ありがとうございます。

同封の「てんとう虫」を読ませてもらっています。

上川郡清水町 中河 会員

いつもお世話になりまして感謝申し上げます。

苫小牧市 大場 会員。

介護職をしながら、北ゼミ講師の仕事をしています。

苫小牧市 高橋 会員

仕事が多忙になってきており学習ペースはダウンしていますが、健康には留意して頑張っています。

恵庭市 小笠原 会員

自宅のコンピュータパソコンの即刻も速すぎる。修理作業の迅速対処を早急にお願ひ致します。それから情報処理論を考える。

札幌市中央区 池田 会員

加藤栄さん白寿祝い、親睦会に参加できず残念に思っています。

6月3日(金)札幌第一合同庁舎6階で会議があり、4日(土)午前中札幌におりますが、午後3時に帰る予定にしております。総会には欠席ばかりですみません。

中川郡幕別町 澤口 会員

同窓会の事務局の皆様 大変お世話になっています。

農家のため、田植え作業など忙しく出席できず 申し訳ありません。

ご盛會を心よりお祈り申し上げます。

加藤 栄 様へ

白寿を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。昨年の卒業式のとくに快くニコニコ笑って握手していただき、大変元氣をもらえました。今後ともお元氣でお暮しく下さいませよう お祈り申し上げます。

樺戸郡月形町 金山 会員

ご無沙汰しており申し訳ありません。

過去に大学院を修了させていただき、引き続き学部の科目選科生として継続しておりましたが、今春、全科生として入学いたしました。

卒業目指して頑張ります。今後ともよろしくお願ひいたします。

釧路市 三田 会員

今年、福祉専門学校を卒業しました。また、放送大学で学びたいと思います。

札幌市西区 川原 会員

同窓会を運営して下さっている役員の皆様、いつもご連絡を頂きどうもありがとうございます。皆様に心から感謝いたしております。

札幌市東区 早坂 会員

昨年の5月、小樽市の姉の介護中に、石階段より転落し、背部腰部を強打し、背骨を骨折して現在加療中です。最初私の診断では骨折したと思ったのですが、医師は骨折無しの診断をしたため、手当てが遅れ苦しい1年でありましたが、5月に入り痛みも軽くなりつつありますので、そろそろ教科書を開いてみようと思います。放送大生々活も20年目になりました。毎日老々介護で多忙に控えています。

札幌市中央区 金加 会員

2016年度からの同窓会員です。よろしくお願ひ致します。

先約があり総会等に出席できません。

研究発表会には出席したく考えています

江別市 永幡 会員

障害者の下宿を初めて8年になりました。老人福祉法で「有料老人ホーム」になると言われて、納得いかないことがいっぱいです。

補助金など一切受けずに、地道にやっているのに、どうすればいいか、入居者の事を考えると複雑です。

なかなか総会に出られなくて残念です。

帯広市 富原 会員

昨年、懸案であった「十勝学窓会」の改変が実現し「放送大学帯広学友会」が誕生しました。念願の学生中心の活動組織となりました。

いま会長委嘱で会の「アドバイザー」をしています。

私は再入学のため学生と情報の共有が出来ることが心強いです。会は卒業生も参加できますので「先輩の知恵」を活動に生かしたいと考えています。

現在ハガキで「アドバイザー通信」を発行し、学生と情報交流を図っています。

河東郡音更町 坂本 会員

加藤栄名誉会員様の白寿祝、心から嬉しく思います。お会いしたことはありませんが、3月に71歳になった私も加藤さんにあやかりたいものです。

放送大学の皆さまのご健康を祈りつつ・・・。

札幌市 北区 佐藤 会員

加齢の故か体調不良につき不本意ながら定期総会を欠席致します。
皆様の益々の健康をお祈りいたします。

札幌市豊平区 新井 会員

会の御盛会をお祈り申し上げます。
介護で忙しくしています。

札幌市中央区 小田 会員

6月4日は面接授業のため出席できず、大変残念です。加藤栄さんとは親しくさせていただいているので、懇親会のみでも遅刻してもと考えましたが、何しろ体力のない私が朝からの授業を終えてからは自宅にたどり着くのがやっとだと思います。当日は加藤さんの99歳のお誕生日でもあり、ご本人に「おめでとうございます」と申し上げたいです。

札幌市白石区 榎本 会員

定期総会当日は都合により欠席させていただきます。
ご盛会をお祈りいたします。

札幌市中央区 榊原 会員

今春、大学院自然環境科学プログラムを修了しました。

藤岡市 古矢 会員

他に予定があり定期総会を欠席します。
加藤栄様には白寿を迎えられたとのこと。現在も放送大学生や同窓会員の模範的活躍をされていることに感動いたします。今後もご活躍を祈念しています。

北広島市 松下 会員

函館暮らしも2年目になります。

函館市 平野 会員

毎朝のジョギングと共に、再入学での学生生活を楽しんでいます。
都合により、定期総会および加藤栄名誉会員の白寿祝い、親睦会に出席できなくなりました。申し訳ありません。

加藤栄様にお祝い申し上げます。

札幌市北区 遠藤 会員

遠隔地のため欠席します

野付郡別海町 清水 会員

同窓会報編集委員から

紙上同窓会は平成 28 年度定期総会会員連絡欄を抜粋して掲載しました。ご連絡をくださった会員の皆様本当にありがとうございました。

会員の皆様第 2 回目の紙上同窓会はいかがでしたか? お困りの会員にアドバイスもお願いします。また、生活の知恵やワンポイントアドバイスなど放送大学で知り得た知識や経験からお手紙などをお寄せくださいね。私の健康法など。皆様からのお便りが無ければ続けていけませんので、どしどし近況などをお知らせください。また、返信はがきは定期総会をご案内する時に同封しますが、メール、FAX や郵便などいつでも受け付けています。また、次号から「感銘を受けた一冊」コーナーも掲載したいと思います。皆様のご協力をお願いします。その他、ご意見なども受け付けております。宜しく願い申し上げます。



第 8 回文化祭のお知らせ

日 時 10 月 4 日(火)から 9 日(日)

場 所 放送大学北海道学習センター 5 階 6 階

展 示 6 日展示物搬入から 4 日展示物搬出迄 6 階廊下

演 芸 (仮称)合唱・落語・手品・朗読・弾き語りなど多彩。

講演会・学生サークル発表会

*展示物、発表、演芸出演者、バザー品を募集しています。

同窓生の皆さん!お誘いあわせの上参加して下さいね

第 8 回文化祭実行委員会 実行委員長 高桑昌子

語学研究会

代表 社会と産業コース 大橋 ちよ子

「語学研究会」は、放送大学北海道学習センターで履修している学生が、これからの国際化社会のなかで、学生種を越えて交流し共生することを学び、語学についての学習・研究・実践を行いながら人的交流を図り、実生活に役立つように活動するサークルです。

中国語部門では、2年4ヶ月間楽しく中国語を学んできました講師 権先生が就職活動に入り、9月から新先生の魏 雪先生になりますが、さらに学ぼうと張り切っております。現在、**中国語・英語・ロシア語・韓国語・イタリア語**などの語学を学んでおり、講師アレックス先生の英語部門では、現在英検・TOEICなどに挑戦している学生のコメントを掲載させていただきます。



Let's enjoy English!

語学研究会 英語部門
瀬川 琢

早いもので私がこのサークルに参加してから、1年が過ぎようとしている。

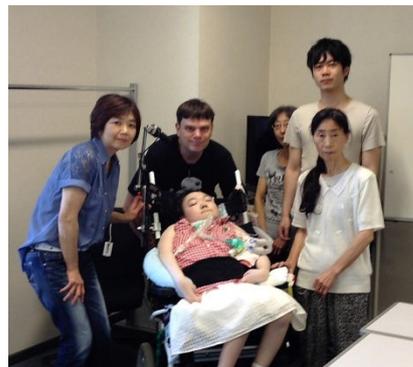
私はまだまだ新参の部類で、中には10年近く参加している人もいるというから驚きだ。

語学研究会 英語部門では明るく、「楽しく！」をモットーに毎回数人の生徒が集まり、先生を囲んで、わいわいがやがやとやっている。その風景はさながらレッスンというより、ちょっとしたお茶会のようなものである。参加する生徒のレベルは様々で、多様な意見が飛び交うのもこのサークルのおもしろさだと思う。扱うテーマは教育問題から食べ物や旅行の話まで毎回、多岐に富んでいる。

私はこのサークルに参加して非常によかったと思っている。

年齢も、背景も違う人々が一同に会し、英語で、(ときには日本語!?で) 自分の意見を表明し合う。こんなすばらしい機会是他にはないのではないか。私の英語はまだまだであるが、このサークルを通し、英語力、ならびにコミュニケーション力を高めていけたら幸いである。

毎回のレッスンは少人数であるが、もっと多くの人がこのサークルのよさを知り、参加していただけたら、嬉しい限りである。(添付の写真)



英語・中国語・ロシア語・韓国語・イタリア語などの語学を学びながら、様々な生活・文化を理解・研究したい仲間が集っております。5階 多目的室 又 6階 会議室で、「**学びながら、慣れよう！！**」を合い言葉に活動し、新会員のご参加をお待ちしております。

連絡先 :大橋 090-5953-7695 <chiyoko.ohashi@gmail.com>

学生サークル うたの会

代表 富川道子



H28.3.27 同窓会主催祝う会出演の様子

うたの会は、ローレライ、花、紅葉など愛唱歌を楽しむ学生サークルです。放送大学学歌や北海道放大生賛歌、蛍の光・歓喜の歌なども歌い、英語・ドイツ語など原語でも歌います。プロの先生がピアノ伴奏で教えてくれます。

うたの会の目的: 豊かな人生の糧として、歌を通して広い文化活動を楽しみます。

皆さん健康のために声を出しましょう！！

放送大学の学びには健康が第一です。

一緒に大きな声で歌いましょう！！

入会を、お待ちしております。

同窓会社会貢献コーナー

5月8日石狩市浜益区川下海岸へNPO法人北海道海浜

美化を進める会主催、協力大学3校札幌の小学生30名も含め参加人数150名の中、放送大学生参加6名で海岸清掃をしました。海岸は拾いきれないほどの漂着ゴミ覆われていました。今年もボーイスカウトに混ざり、地域でコンビニを営んでいるところの93才の女性も参加し、活動は1時



間 30 分あまりで回収しましたが拾いきれず、小学生がまだ清掃を続けたいと言い出しましたが、残った分は地元で清掃するからと言われ断念していました。活動の後は町内会の婦人部が作った豚汁に舌鼓を打って昼食。その後浜益温泉で汗を流し帰路につきました。桜がきれいでした。

6 月 26 日 24 時間テレビ洞爺湖町浜美化
キャンペーン参加しました。バス 3 台で洞爺
湖町虻田海岸へ 120 名参加の中、北海学園
大学 46 名北海道科学大学 25 名、放送大学
関係者含め 6 名と一般ほか現地参加等 40
名ほどで 1 時間 30 分余りで見事にきれいな
海岸になりました。達成感での昂揚も手伝っ
てバスの中での JR 洞爺駅構内販売のカニ飯
弁当や持参のお弁当の美味しいこと。小雨



がぱらついていたのでジオパーク散策を中止して一路温泉街へ。洞爺湖温泉開湯 100 周年と主催の NPO が虻田海岸清掃 10 年目を記念して、洞爺湖町から参加者全員に温泉入浴券のプレゼントがあり、半数は日帰り温泉へ、半数は全国コスプレ大会見学などで楽しい一日となりました。

担当 中根恵美子

パソコン学び隊隊員 募集中！

パソコンは持っているけれども、今ひとつ利用できていない・・・

そんな悩みを解決しませんか？

たとえば・・・年次の挨拶状を作りたい。簡単な家計簿を作りたい

・ システムわかばにアクセスしたいなどなど

放送大学在学学生なら誰でも隊員になれます

連絡先 メール: miyasabon@yahoo.co.jp

電話番号: 080-5585-3416 島田

放送大学を宣伝してください！

皆さんの『口コミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター

TEL 011-736-6318

新入会員のご紹介！！（敬称略・順不同）平成 28 年度後期卒業生

（院）須川 洋一 （心）佐々木 昇

（ ）谷永 啓子 （心）榎本 聡子

（社・産）本間 一男（生）田中 勝利

〒・住所・電話番号などの変更のときは、必ず、ご連絡をお願いいたします。

会費納入と新入会員募集のお願い

平成 28(2016)年度の継続会員の方は、今年度の年会費 1,000 円を下記口座へお振込み下さる様ご協力をお願いいたします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金 1,000 円、年会費（初年度）1,000 円を下記口座へご送金ください。（次年度以降は年会費のみとなります。）

郵便口座名 放送大学北海道同窓会
口座番号 02740-0-37725

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目
放送大学北海道学習センター内
放送大学北海道同窓会
学習センター事務室内ポストに直接投函
可

FAX 番号 011-642-2389 中根

E-mail tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp

URL : <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

編集後記

ロンドン市内の美術館と博物館巡りをして
いた時、地下鉄のホームで若い白人の女性から「次の列車はボンド・ストリートに行きますか」と聞かれたことがあります。東洋人の旅行者然とした自分に、なぜ地元の人にしか容易に答えられない事柄を聞くのか、その時は合点がいきませんでした。

その後、大学院の科目「異文化の交流と共存」を履修したとき、この時の疑問が解けました。2001年の統計では、英国での白人の占める割合は92.1%、残りは主に移民とその2世・3世が占めていて、割合は7.9%です。ロンドンではこのエスニック・マイノリティーの占める割合は格段に増加します。つまりこの若いご婦人は、私をロンドンに住むマイノリティー・グループの一員と思っただけに違いありません。

英国は古代から異なる人種が流入する一方で、異国に自国民を大量に送り出す国でした。国内では、異者の存在と文化の排斥と同化を繰り返しながら文化多元的思想を醸成し、異国では、その国の文化に英国文化を織り込んできました。しかし EU からの脱退はこうして培ってきた伝統からの逸脱のように思えません。

伝統産業の衰退と雇用の喪失は、EU の規制と移民の流入が原因ではなく、経済のグローバル化によるものでしょう。英国の知性は、栄光の復活という幻想に押しつぶされようとしています。

「異文化の交流と共存」の11章「多文化（＝他文化）の表象としての移民へのまなざし」で大石和欣先生はこう締めくくっています。「異者」を包摂することによって摩擦を誘発しながらも、新しい「かたち」を常に追求し続けるのがイギリスに負わされた歴史的使命なのである。